



準防火エリアでATAハイブリッドトラス構法を採用

青森市内で木造のパン工場が完成

大成産業(株)秋田木材加工センター／(株)ATA



深刻な地球環境問題に配慮し、環境への負荷の少ない資材を選択しようとする動きは、建築分野全般に波及しようとしている。また資材価格の高騰する中、適正価格を追求すべく、コストコントロールと設計自由度に優れた木構造を選択する動きが広がっている。

写真はこのほど青森市内で完成したパン工場。従来であれば準防火地域において食品工場を建設する場合は、迷わずスチールで建てていたものが、構造を見直して木造で建設するという新しい動きが起きている。

施主は県内で食品加工業を営む(株)鈴惣。木材加工・施工を行ったのは、大成産業(株)秋田木材加工センター(センター長 御所野富雄)。木造にしたのは、設計会社からすすめられたことがきっかけだった。従来であれば、食品工場は、専用の機械などが入るために柱があると邪魔になるので木造で建てることはまずなかったが、10mを超える大空間を鉄骨造よりも安価なコストで建設することが可能なATAハイブリッドトラスを提供している(株)ATA(富山県滑川市)と協力して構造設計が進め



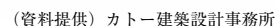
られた。

平屋建てで建築面積250・11㎡
(75・66坪)。梁間方向20・02m、
桁行き方向13・195m。パン工
場、クリーニング室、包装室、商
品室、原材料倉庫、休憩室事務室
などに分かれている(平面図参
照)。

パン工場内(約132㎡)に入
ると天井のATAハイブリッドト
ラスがあらわしとなっている。A
TAハイブリッドトラスは、S
型(張弦梁タイプ/水平屋根用)
を採用。約2・7m(2730mm)
の間隔で4フレーム入れ、約10m
(10010mm)のスパンを飛ば
した。

青森市内の臨港地区に位置して
おり、軟弱地盤のため基礎ベース
の幅を1m(1000mm)とし、
積雪対応を兼ねて、立ち上げは、
現状地盤より800mm立上、ベ
ースより1150mm立上とし、内側
基礎断熱とした。

積雪2・0mの寒冷地地域で、
庇のない無落雪の平屋根とした。
積雪荷重に対応するため、梁に欧
州赤松中断面集成材(対象異等級
構成集成材、強度等級E120・
F330・E170・F495、



曲げヤング係数平均値12・0、
17・0、曲げ強さ33・0N、49・
5Nという強度と曲げヤング係数
に優れた集成材を採用した。

準防火地域なので、準防火の対
応として窯業系外装材モエンエク
セラード16mm（ニチハ製）を採用
した。

契約金額は4800万円（税
込）。工期は5月11日～7月31日
の82日間と、この分野の建築工事
としては異例の短工期。土木工事
会社、電気工事会社、建材会社、
管工事会社、板金会社など建設業
許可を取得している業者だけでも

7業者が入っている。スケジュール通りに完成して、施主の満足度としても高いものがあった。

(株)ATAによると、青森県では、昨年の青森県八戸市の倉庫に次いで2度目のATAハイブリッド構法の採用となる。大成産業(株)秋田木材加工センターによると、青森県内では、これまでATAハイブリッド構法を紹介するセミナーを開催したことがなかったことから、今年の12月中旬ごろに青森県建築事務所協会の協力を得てCPDセミナーを開催する予定である。

7業者が入っている。スケジュール通りに完成して、施主の満足度としても高いものがあった。

(株)ATAによると、青森県では、昨年の青森県八戸市の倉庫に次いで2度目のATAハイブリッド構法の採用となる。大成産業(株)秋田木材加工センターによると、青森県内では、これまでATAハイブリッド構法を紹介するセミナーを開催したことがなかったことから、今年の12月中旬ごろに青森県建築事務所協会の協力を得てCPDセミナーを開催する予定である。

ATA ハイブリッド構法

「鉄骨」から「木造」に変える

黒田木材商事(株) 一般流通サイズの地元杉を使用した大型製材工場 (19 m× 51 m)
(佐賀県)



(株) SR 天井クレーン付き大スパン工場 (24 m× 29 m)
(福井県)

現在提携 45 社

中大規模木造普及の為に全国各地からの供給を目指しております。

株式会社 ATA

TEL076-471-8825 FAX076-471-8826

E-mail:atainfo@ata-truss.jp

URL : <http://ata-truss.jp/>